

# 大阪城

2022  
8/4  
(木)  
14282号

全港通  
西成合記

224  
6647-  
4947

インフレ、物価高が続く中、焼け石に水の  
ような感じだが、日銀が3円ほど上げるよう  
です。先日、厚労省の審議会で時給を  
3円を目安に引き上げる事が決まり、これから  
各地方で具体の金額を決定し、10月から  
実行になるようです。大阪は昨年28円より、今  
99円なので、3円が決まると、10月からは時給が  
102円になると予想されています。

欧州(EU)主要国に比べると、日本の日銀は低く  
E.U.の6〜7割という低い金額にとどまっています。  
世界の今の秩序や枠組みがくずれて新しい  
構造に向けて社会がうねりを起こしています。  
日本も例外であることはなく、安倍政治の消滅とか  
のユートピア表現とともに、現実、具体社会は日々  
流動、変化を遂めてきています。

目には見えないうえ、ウイルスも変異を続け、BA.5とか  
BA.2.75とかのものに変わってきて、いつのまにか感染者も  
世界一とかいわれたり、死者も10万人に達するアメリカに  
従属するように、日に死者143人(8/2)とか100人前後に  
ふえてきています。臨時国会のようだが、政治が  
進めがあまり見えないうえ、日本です。

# 最賃大阪時給992円から1023円に10月から

今年度の最低賃金の引き上げについて議論してきた国の審議会は、**全国平均で31円引き上げ**とする目安を示しました。

低賃金は、企業が労働者に最低限支払わなければならない賃金で、現在、全国平均で時給930円、大阪府では時給992円となっています。

審議会では地域別の目安も示され、▼大阪や京都、兵庫、滋賀の4府県は31円、▼奈良と和歌山は30円となりました。実際の地域別の引き上げ額については、国の審議会ですされた目安を参考に府県ごとに議論されますが、目安どおりに引き上げられれば、大阪では、初めて1000円を上回り1023円となります。

大阪の最低賃金は、10年前の2012年度には時給800円だったため、200円以上、上昇することになります。

一方、現在の奈良の最低賃金は866円、和歌山では859円で、この2県では、示された目安の30円引き上げられても、依然、800円台で、地域差が鮮明になっています。

相次ぐ物価高の影響で、労働者側としては最低賃金の引き上げを求めています。が、原材料費の高騰に苦しむ中小企業を中心に、人件費の上昇によって経営が圧迫されるところもあるだけに、今後大幅な引き上げが続くかが焦点となります。

最低賃金が大阪で初めて1000円を超える見込みとなったことについて、日本総研関西経済研究センターの若林厚仁 センター長は、「諸外国と比べればまだ低く、欧州では日本円換算で1400円というのが通常で、アメリカでは2000円を超える州もある。それを考えると、ようやく1000円を超えたというステージだ」と述べました。8/2NHKwebNEWS

## 8時間とすると日給248円差なので影響が大きい